

会議録

会議の名称	令和３年度 第４回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	令和４年１月１７日（月） 午後７時から午後８時
開催場所	田無第二庁舎４階会議室１～３
出席者	委員：（対面）廣瀬委員長、田中副委員長 （オンライン）藤井委員、猪股委員、濱崎委員、中野委員、青木委員 （欠席）葛西委員、田邊委員、中村委員 事務局：堀文化振興課長、文化振興課栗林課長補佐（兼文化振興係長）、文化振興課文化振興係神田主事
議題	１ 「令和３年度施策・事業評価（令和２年度分）」調査結果 ２ その他
会議資料の名称	【当日机上配布資料】 資料１ 西東京市第２期文化芸術振興計画「令和３年度施策・事業評価（令和２年度分）」調査表
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録
会議内容	
【以下、廣瀬委員長にて議事進行】 １ 開会 ・オミクロン株の急速拡大に伴う緊急対応期間中であることから、できる限りオンラインによる参加としたことを説明。 ２ 【議題１】「令和３年度施策・事業評価（令和２年度分）」調査結果 ○司会： ・第３回推進委員会において、資料１における各所管課からの回答内容等について、幾つかの確認事項が出ていた。確認事項について事務局より回答。 ・調査表２５ページ 基本方針３「文化芸術を担う人づくり」 施策２「次代の文化芸術を担う人づくり」 【３-２-３】から議論を行った。 ○委員： 調査表２６ページ【３-２-３】図書館の記載について、「世代を超えた学び方、楽しみを共有する取り組みは行っていない」と記載があり、今後の展開についても「継続的に実施の予定はない」と記載されている。世代を超えた交流は大事だと考えるが、本当に実施の予定はないのか。	

○事務局：

- ・図書館では様々な取り組みを行っているが、「世代を超えた学び方、楽しみを共有する取り組み」に関しては継続的に実施する事業がないということであった。世代を超えた取り組みは大変貴重で必要なことだと認識しているため、現状と今後の取り組みについて、調査表に含まれない実施事業がないか確認する。
- ・基本方針3「文化芸術を担う人づくり」の中で、図書館では他に様々な取り組みを行っている。例えば、「地域ゆかりの文化人の招へい」や「多様な人材と連携した事業を実施する」などの取り組みが行われているため、施策2に対して図書館が何も実施していないということではない。

○委員長：

- ・図書館では年配の方が子どもたちに昔の話や、古い歴史の話を聞かせる等の活動はしている。書き方により回答内容が変わる可能性があるため、確認してほしい。

○事務局：

- ・【事前質問】調査表26ページ【3-3-1】社会教育課の「したのやムラびと制度」を創設し、登録者に「したのやムラびと証」を発行したとあるが「登録者数を明記したほうが良いのではないか」という意見があった。社会教育課に確認したところ、令和元年3月31日時点で322名の方が登録していることがわかった。

○事務局：

- ・【事前質問】調査表26ページ【3-3-2】社会教育課の「市民調査員制度とボランティアの関係は」について、「市民が文化財に積極的に関わる場を作る」という意味では同じだが、内容として市民調査員制度は調査に対して謝金を払うなど責任を持たせ、ある程度専門性を求めたもの。それに対してボランティアの枠組みは謝金などの支払いはなく、市民主体の文化財に関する活動を取りまとめたものとしての位置づけである。また、今回創設した「したのやムラびと制度」は下野谷遺跡に限定しており、市内文化財すべてを対象とする市民調査員制度との調査と対象が異なるということであった。

○事務局：

- ・【事前質問】調査表27ページ【3-4-1】「産業振興課のC評価について、中止イコールCではなく企画等すればBでも良いのではないか、他は中止でもBになっている事例もあり、他に比較検討ができないのであればCでも良いのではないか」について、こちらの項目の事業は団体からの補助金申請に基づき支給することになっているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び台風により申請に至らなかった、もしくは申請をしたものの、実施を取りやめ、申請を辞退した。結果的に市がまったく関与することなく、実施に至らなかったためC評価としたとのこと。

○事務局：

- ・【事前質問】調査表28ページ【4-1-1】「社会教育課の記載について、実施していればAで良いのではないか」について、前年度も同様の内容でB評価をしていた。内容的に変更がないため今回もB評価とした。

- ・【事前質問】調査表28ページ【4-1-2】「公民館の記載について、「下野谷遺跡に学ぶ

講座」は4回の実施で受講者数が延べ52人となっているが、目標人数は定められていたのか」について、「全4回なので1回あたりの定員を15名に想定し、15×4回で60名が目標であった」とのこと。

- ・【事前質問】調査表28ページ【4-1-3】「情報推進課の記載について、ダウンロード数が令和2年3月31日と令和3年3月31日時点の9千あまりが合計数でよいのか」について、「積み上げ数であるため、令和3年3月31日のダウンロード数は5148人が総数となる」とのこと。

- ・【事前質問】調査表28ページ【4-1-4】「社会教育課の評価はB評価になっているが、実施できているのであればA評価でいいのではないか」について、「調査報告書については文化財活用計画において、文化財保護審議会から「下野谷遺跡の調査報告書を発行すべき」というとの指摘もあり、概ね達成しているとの評価をしたため合わせてB評価にした」とのこと。

○委員：

- ・調査表28ページ【4-1-3】情報推進課の記載について、ダウンロード数記載の仕方がわかりにくい。

○事務局：

- ・わかりやすい表現とするよう情報推進課へ伝える。

○事務局：

- ・【事前質問】調査表29ページ【5-1-1】「地域共生課の評価について、C評価となっているが、企画、検討していればB評価でいいのではないか」について、「庁内関係部署と比較並び実績に向けて調整をしていた。新型ウィルスコロナ感染症の拡大に伴い中止としましたが企画そのものは調整したということでC評価からB評価に修正したい」と申し出があった。

○事務局：

- ・【事前質問】調査表30ページ【5-1-1】「障害福祉課、スポーツ振興課のBの評価について、イベントができていればA評価でいいのではないか」について、「アスタセンターコートでの実施のみになってしまい例年に比べると実施できていないことからB評価とした。スポーツ振興課では実施ができず、対策に向けての方策を検討することで止まってしまったためB評価となった」とのこと。

○事務局：

- ・【事前質問】調査表31ページ【5-1-2】「地域共生課のC評価について、何も企画検討ができなかったのか」について、「庁内関係部署と比較並び実績に向けて調整をしていた。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止としたが企画そのものは調整したということでC評価からB評価に修正したい」と申し出があった。

○事務局：

- ・【事前質問】調査表30ページ【5-1-2】「障害福祉課のB評価について、いずれも実施できているのであれば、A評価で良いのでは」について、「アスタセンターコートで

の実施のみになり、活動の場所が減少したためB評価のままとする」とのこと。

○事務局：

- ・【事前質問】調査表31ページ【5-1-2】「スポーツ振興課の「オランダ王国で行われている「散歩」と取り組みをコロナ禍においても誰もが社会に参加できる共生社会を目指すことを目的に老若男女問わず、市民が参加し、共生社会の実現を目指す事業を行った」という表現がわかりづらい」について、「西東京市は東京2020オリンピック・パラリンピックのオランダホストタウンであったことから、オランダで取り組まれている『散歩』を西東京市にも取り入れて実証した。令和3年3月にいこいの森周辺、都立東伏見公園周辺にていこいの森散歩、東伏見散歩を実施した。参加者数としては延べ190人が参加した。こちらは老若男女どなたでも参加できる地域共生の取組として行ったもの」という書き方に修正する」とのこと。

○事務局：

- ・【事前質問】調査表33ページ【5-2-1】「都市計画課のC評価について、調査のための方法など企画をしているのであればB評価でもいいのではないか」について、「令和2年度は企画を含む全ての取り組みができていなかったが、令和元年度以降調査、研究を行っていくので令和2年度についてはC評価でよい」とのこと。

○委員：

- ・調査表35ページ【5-3-2】社会教育課の自己評価がBになっており、評価の理由が「今後計画を進めていくうえで、有意義な意見を伺うことができた。」とあるが、何をしたいとBにしたのか、だけでなく全体的にもう少し書いてあるとわかりやすい。

○事務局：

- ・実際にどこまでを目標と掲げていて、どこまでを達成したのかわかりづらい表現がある。B評価としたことに足りなかったことを含めて書くことで、今後の展開、課題、予定を次年度に向けて進めていけるため、表現について文化振興課から伝える。

○委員：

- ・調査表35ページ【5-3-3】健康課の「食育推進の一環として、保育園児及び小学生から」とあるが西東京市に幼稚園はないのか。

○事務局：

- ・西東京市に幼稚園はあるが市立幼稚園がないので幼稚園でどのようなことを行っているのか確認できていない。

○委員：

- ・調査表35ページ【5-3-3】児童青少年課で「中高生年代プロジェクト」と書いてあるのに、「市内大学と高校との連携をはかる」となっているが中学生は省くのか。

○事務局：

- ・中高生年代プロジェクトは中高生が行う事業として毎年児童青少年課で行っている。プロジェクトを行うにあたり特に市内大学と高校に依頼を行い、参加者を募ったということである。

○委員：

- ・調査表35ページ【5-3-2】図書館の「武蔵野大学の日本文学部」は存在しない。あるのは「文学部」か「文学部日本文学科」である。

○事務局：

- ・確認し、訂正する。

○委員：

- ・調査表37ページ【5-4-3】スポーツ振興課の「新座市のテニスコートについて、相互利用を行っている」とあるがテニスコートを持っているのは新座市のみなのか。

○事務局：

- ・西東京市にも市が管理するテニスコートがある。それに加え、新座市と相互利用の協定文書を結んでいるため、西東京市民であれば新座市のテニスコートも使える制度を確立しているという趣旨である。

○委員：

- ・市民は知っているのか。

○事務局：

- ・周知されているか、スポーツ振興課に確認する。

○委員：

- ・下野谷遺跡の発掘や調査は現在も行われているのか。

○事務局：

- ・現在も調査を行っている。調査対象の土地の家が退去した場合、その土地も調査を行い、遺跡の価値を高めるため調査を進めている。

2 【議題2】その他について

○事務局：

- ・西東京市第2期文化芸術振興計画の令和3年度施策・事業評価(令和2年度分)調査表は、本日最終の37ページまで終了したため、第5回推進委員会におきましては「推進委員会評価コメント」を記入した資料と、令和2年度の第5回推進委員会でまとめた形式の第1回推進委員会で配布している資料5の重点項目の考え方課題の①～③までに沿った総合評価コメントをまとめさせてもらい、委員から意見等伺いたい。第5回推進委員会については令和4年2月14日(月)に開催する。

3 閉会

以上